

令和3年 第6回（定例会）
厚真町教育委員会会議録

1 開会 令和3年4月28日（水）14時30分

2 閉会 令和3年4月28日（水）16時10分

3 前回会議録の承認

4 出席委員の氏名

遠藤 秀明 池川 徹 金光 えり 長門 茂明 日西 大介

5 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習参事 宮下 桂
生涯学習参事 作田 和彦

6 会議録署名委員の指名

（池川 徹）
（日西 大介）

7 教育長報告

(1) 行事参加等の動向

(資料1)

【質疑】

池川委員 : 4月5日の教職員歓迎式において、町長が来賓として出席し、転入教職員が正装で参加している一方、教育委員会事務局職員の一部にジャージを着て出席している者がいた。場に応じた服装にすべき。管理職からも指導すべき。

宮下参事 : そのとおりであるので、今後このようなことがないよう指導する。

8 所管報告

学校教育グループ

(1) 各学校の教職員・児童生徒数について

(2) 4月校長会議・教頭会議について

(資料2)

(3) 厚真町教育研究所第1回運営委員会（4月23日開催）について (資料3)

(4) 議会総務文教常任委員会所管事務調査（4月26日開催）について (資料4)

社会教育グループ

(1) パークゴルフ場オープン／4月15日（木）／上厚真・本郷いこいの森

(2) 聖火リレー実行委員会について

(資料5)

【質疑】

池川委員 : 聖火リレーは、教育委員として出席・参加できることはないのか？

- 教育長 : 今のところ来賓等の制限も予定されている中で教育委員として聖火リレーに参加する想定はしていない。コロナ禍で各地の聖火リレーも難しい運営をされており、どちらかというとな静かに粛々と実施しているところが多い。
- 金光委員 : 小中学校は全校応援を取りやめたとのことだが、やはりオリンピックの聖火リレーが地元で開催されることは一生に何度もある機会ではないので、見せてあげたいという気持ちはある。
- 池川委員 : 中継や動画を見るという手もあるので、何か記憶に残せるような工夫もあつたらよいのではないかと。
委員としての参加が無いのであればボランティアとして参加したい。

9 議案

- 議案第1号 厚真町教育委員会事務局組織規則の一部改正について (資料6)
- 議案第2号 厚真町心のサポート・防災学習推進協議会設置要綱の一部改正について (資料7)
- 議案第3号 厚真町教育研究所の設置に関する条例施行規則の一部改正について (資料8)

【質疑なし】

10 その他

- (1) 令和3年「四者教育懇話会」の中止について
- (2) 令和3年度第57回北海道市町村教育委員会研修会(7/15)の中止について

【質疑】

- 池川委員 : 厚南中学校の入学式に出席したが、校長から広いグラウンドの管理(除草作業等)が大変厳しいという話があった。何とかしてあげたいと思った。別件で、教育委員報酬の支払い遅延があった。このような小さなミスが大きなミスに発展することもあるので事務の適正執行に努めて欲しい。管理職のチェック体制も強化すべきである。
別件で、給食センターの食材調達において一昨年から大手町外業者が参入した影響で、町内業者がかなり厳しいようである。何か手を打たなければ町内経済に大きな打撃となる可能性もある。賄材料の調達方法について今一度見直す必要があるのではないかと。
- 宮下参事 : 厚南中グラウンドの管理については調査する。ミスが起こらないよう定期チェック機能を導入し、チェック機能を強化したい。食材調達については適法に行われていると承知しているが、域内経済循環を考慮すると、安易な大手卸売業者の参入は町内業者の圧迫につながることも理解できる。納入業者の現状変更は難しい判断を要するが、より適切な方法があれば一度検討したい。
- 金光委員 : 河川敷に新築された新町の公営住宅から中央小に通う児童がいるが、新町学園通り線の横断が坂道でもあり危険がある。とは言え他に安全な通学ルートが無いようで困っているようなので、少しでも早く安全な通学ルートを確保してもらいたい。
- 宮下参事 : まずは現状把握して対策を考えたい。
- 金光委員 : 道道早来浜厚真停車場線の美里地区の歩道であるがかなり傷んでいて凹凸が激しい。自転車通学をする児童もいるので何とか改良してあげ

たいと思うが。

遠藤教育長：町道と道道では管理者が違うが学園通りの件も含めて、できるだけ早期に通学路安全推進会議を開き、関係機関とも課題や最新情報を共有し対策を打ちたい。

長門委員：厚南中学校からの町道と道道早来浜厚真停車場線とが交わる T 字路交差点も横断歩道が無いが生徒が横断しなければならず、地域住民から何とかならないか？という声を聞いている。

遠藤教育長：通学路の草刈も含め積年の課題なので引き続き関係機関とともに有効な対策を考えていきたい。

金光委員：GIGA スクール端末が導入され、確かに便利で効果もあるのだが、活用が広がっていく一方で、やはり使い方については心配な面もあり、メディアコントロールは引き続き必要と思う。特に低学年では安易な持ち帰りなどはさせて欲しくない。自分でコントロールする力が育っていないうちからたくさん使うのは、負の影響が懸念される。

長門委員：あくまで道具であり、使う側の眼力が要求される。確かに便利ではあるが本来必要な道具は他にもあるはずで、端末を使うことが目的化してしまわないように注意する必要がある。

宮下参事：導入が始まって学校現場でも同じような懸念は持っているようである。持ち帰りについてはプロジェクト会議でも「低学年は持ち帰る必要はないのでは」との議論もあり、学校で使い方を徹底指導した上で、持ち帰り開始時期については慎重に検討することとしている。早ければ高学年は夏休みあたりからとの想定もあるが未定な部分も多い。学校でも使用する時数制限を設けていると聞いている。いずれにしても、有効活用の面と適切な接し方の啓発とバランスよく進めていく必要があるものと承知している。

1 1 次回委員会の開催日程

- ・ 5月27日（木）午後2時30分（予定）

1 2 閉会